

## 13 施設設備

### 進捗状況報告

【13.0.1】情報機器およびレンタル・オフィス、レンタル・ラボの整備については、理工学部「13施設・設備」参照。これらの措置は応急的なものであり、生命科学専攻と情報科学専攻の新設や定員増に対応するため大学院棟の早期建設が強く望まれる。

【13.0.2】外部資金の導入に更なる努力がなされた結果、2007年度にはCREST1件、NEDO1件、私立大学学術研究高度化推進事業8件のプロジェクトが稼働している（理工学研究科「9研究活動と研究環境」参照）。これらのプロジェクトのための設備を整備するために、各プロジェクト1回にかぎり停止条件なしで大型装置を私学助成に申請できる制度を2004年から導入した。

【13.0.5】生命科学科と連携している理化学研究所に加えて、外部機関との更なる連携を模索するなかで、Spring-8との連携のための協定が2007年2月に締結された。2007年度から活動が始まっており、最先端の機器を利用した研究・教育に対する大きな刺激が期待される。

### 学内第三者評価

外部資金の導入による大型装置の導入が行われ、外部機関の連携による最先端の機器を利用した研究、教育が行われるなどの成果がある一方、大学院生の増加に伴う施設の充実が課題とされている。